

交通管制センター



交通管制センターの役割

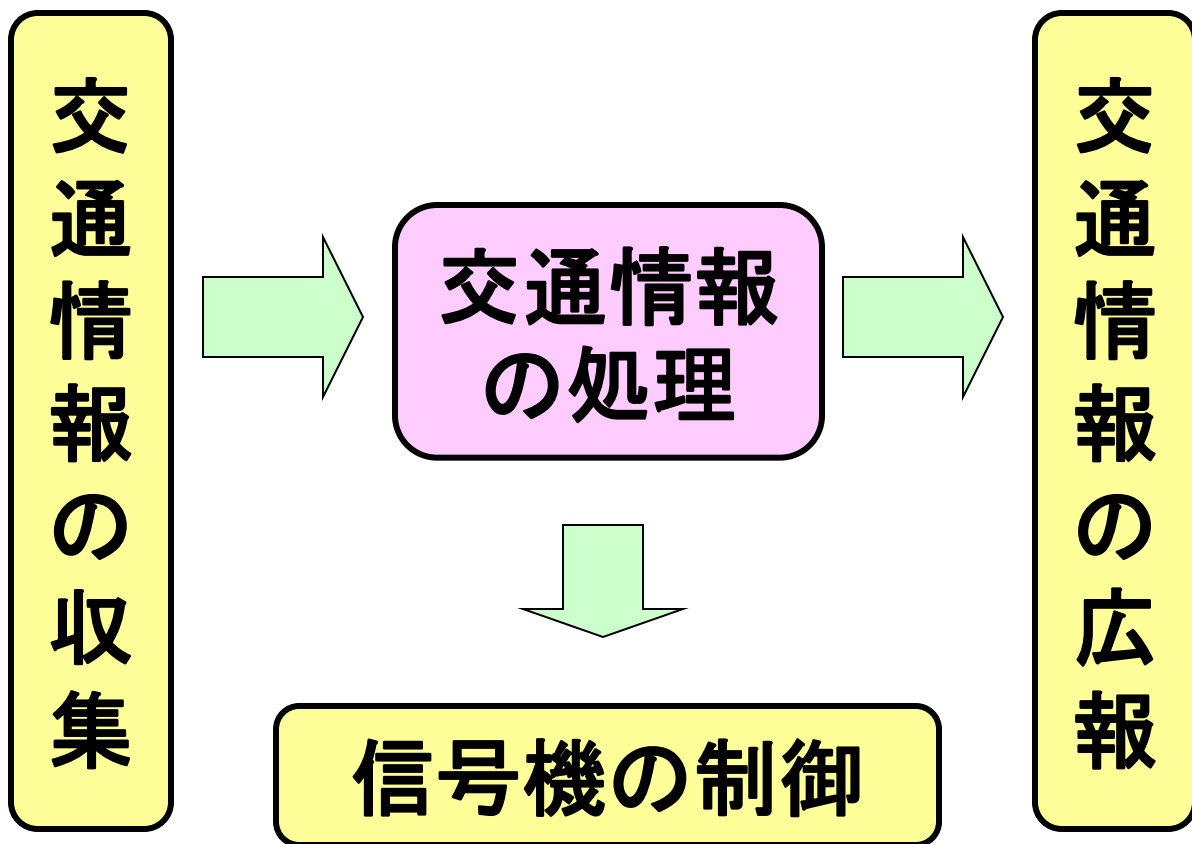
愛媛県警察本部では、県下の交通の安全と円滑を図り、より良い交通環境の実現のために交通管制センターを運用しています。

交通管制センターの効果

- 交通渋滞の緩和～適切な信号機の制御を行うことにより、交通渋滞の緩和や目的地までの時間の短縮が図れます。
- 交通事故の防止～交通渋滞の緩和により、追突やイライラ運転による交通事故の防止が図れます。
- 交通公害の低減～車の停止回数や目的地までの時間が減ることにより、Co2の削減や騒音の低減が図れます。

交通管制センターのしくみ

交通管制センターでは、県下の交通に関する情報を収集し、その情報の処理を行い、信号機の制御や、交通情報の広報を行っています。



1 交通情報の収集

- 県下の主要道路や交差点に設置してある車両感知器で車の量を計測しています。
- 松山市内の主要交差点に設置してあるテレビカメラで道路の状況を監視しています。
- 警察官やパトカー等から交通に関する情報を収集しています。

テレビカメラ



車両感知器



2 交通情報の処理

収集した交通情報を、大型コンピュータに入力し、信号機の制御や交通情報の広報用に各種データを処理しています。

大型コンピュータ



3 信号機の制御

コンピュータで得られたデータをもとに、信号機をコントロールし、車の多い道路を優先させたり、信号機と信号機を連携させる等して車の流れをスムーズにします。



4 交通情報の広報

- 道路上に設置してある交通情報板から、渋滞情報、旅行時間、交通に関するお知らせ等を広報しています。
- ラジオ放送局から定期的に道路の状況を放送します。



交通情報板



放送ブース